

未来につながる エコ・ワード

Vol.8

ニュースで耳にする環境「ワード」。
明日への行動につなげてみよう。

問 環境政策課／TEL674-7486

問題 サーキュラーエコノミーってなに？

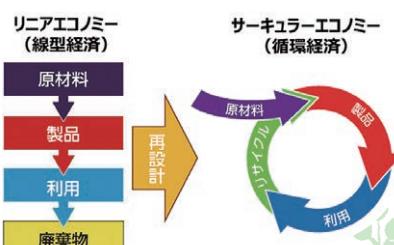
- A 大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済活動
- B 資源の利用を抑えることにより廃棄を減らす循環型の経済活動
- C 地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しない経済活動

答え B 資源の利用を抑えることにより廃棄を減らす循環型の経済活動

解説

大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした経済活動により、資源の枯渇や廃棄物の増加が世界全体で深刻化しています。持続可能な社会のためには、資源の利用を抑え、今あるものを有効活用するサーキュラーエコノミー（循環経済）への移行が必要です。環境への配慮に熱心な企業は、サーキュラーエコノミーを実現するために、製品を考え

る段階で、廃棄することを前提としないモノづくりに取り組んでいます。



私たちができること

- サーキュラーエコノミーへの取り組みを積極的に行っている企業とその事業活動を知り、製品を選ぶ
- さまざまな製品を使い終えた後は、どのようにリサイクルやリユースするのかを考える

松永久秀の肖像画

たかつき歴史アラカルト⑨

松永久秀は、本市の東五百住出身であることが有力視されている戦国武将です。しろあと歴史館では、久秀の肖像画を所蔵しています。

この画は、久秀が亡くなつてから遠くない時期に描かれた原画を、江戸時代に模写したものと推定され、実際の顔立ちに似せて描かれたと考えられます。顔は、眼光鋭く、頬骨が張り、唇は厚く、前歯が出た印象的なものです。久秀は70歳で亡くなりましたが、この画では40代ぐらいに見えます。久秀は44歳の時に肖像画を描かせたことが記録にあるので、それを参考にした可能性があります。

久秀のかたわらには、茶道具などを入れるための仕服が描かれてあります。武士の肖像画に、武具以外の物が描き込まれるのは珍しいです。久秀は、後に織田信長へ献上した大名物「付藻茄子（つくもなす）」の茶入れをはじめ、名物茶器の収集家として有名でした。この画を描かせた人物は、久秀の教養人として的一面を強調したかったのかもしれません。

これまで、久秀を紹介する際に用いられてきた錦絵は、江戸時代後期～明治時代に刷られた、全くの空想の絵でした。久秀を悪人とする伝承が広まっていたこともあり、より悪人らしく表現されたも

のもあります。

近年、久秀は史実に基づく再評価が進められている中、実際の顔立ちをもとに描いた可能性が高い。この肖像画は、久秀の実像に迫る資料です。

（しろあと歴史館）



松永久秀の肖像画(部分)